



「街」

2024年11月22日（金）

株式会社富士屋

代表取締役社長 木村 明正

株式会社シジシージャパン

代表取締役社長 松本 偉

株式会社神奈川シジシー

代表取締役社長 堀田 和宏

全国児童画コンクール(主催:毎日新聞社、日本児童画振興会  
後援:文部科学省 協賛:CGCグループ)

富士屋 中田店からご応募

静岡市立大里西小学校 6年 <sup>ひょうなが</sup> 兵永 <sup>そうすけ</sup> 想介さん(12歳)

文部科学大臣賞(小学校高学年の部)を受賞

株式会社富士屋が加盟する全国スーパーマーケットの協業組織CGCグループ(<https://www.cgjapan.co.jp/>)が、1982年から協賛している「全国児童画コンクール」で、弊社中田店からご応募いただいた兵永(ひょうなが) 想介(そうすけ)さん(6年生・12歳)の作品(写真上)が、文部科学大臣賞(高学年の部)をご受賞されました。

この全国児童画コンクールは、1982年から行っています日本最大の児童画コンクールです。その特徴は、CGCグループの全国の加盟スーパーマーケット店舗のスタッフがコンクール専用の画用紙を携えて、地域の保育園や幼稚園、小学校を訪問し、作品の募集、回収、返却を担当している点です。

コロナ禍以前は毎年55万を超える作品応募がありましたが、コロナ禍で応募作品数は減ったものの、今回の第43回は、47万2,461枚の作品が集まりました。応募作品の質と量、双方を国が認め、前回の第42回から文部科学省の小学校学習指導要領 図画工作の学年区分に則り、文部科学大臣賞以下、上位賞に新たに小学校中学年の部(3・4年生対象)が追加され、4部門(幼児、小学校低学年、中学年、高学年)となりました。弊社では全8店が作品の募集活動に参加し、計8,179作品をお預かりしました。

審査は10月に5日間にわたって、児童教育の専門家23人がすべての作品を1枚ずつ行い、各賞が選定されました。



#### 兵永さんの作品の選評

「重なり合い、生きもののように伸び伸びとした  
高速道路や、遠くから眺めた色とりどりの街を  
美しく描いた、豊かな発想の  
すばらしい作品です」



協賛するCGCグループは、この児童画コンクールで独自の寄附企画を行っております。第一弾は、東日本大震災発生年の第30回から第39回までの10年間、東日本大震災の被災児童支援のため、被災された3県(岩手、宮城、福島)の各県に応募作品1点につき5円の寄附を贈呈させていただきました。第二弾として、第40回からは文部科学大臣賞のご受賞者がお住まいの市区町村に対して、子どもたちの未来に役立てていただく寄附企画を始めました。

第43回の本年度は、1作品について20円の寄附を企画し、静岡市には、236万2,305円を寄附させていただきます。

静岡市への寄附贈呈式の予定は別紙の通りですので、ご案内申し上げます。

### 【全国児童画コンクール 静岡市への寄附贈呈式】

■場所■ 静岡市市役所

■日時■ 11月22日(金) 13時15分～13時30分

■参加■ 難波 喬司 市長

富士屋 代表取締役社長 木村 明正

シジシージャパン 代表取締役社長 松本 偉

神奈川シジシー 代表取締役社長 堀田 和宏